

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-032502

(43)Date of publication of application : 31.01.2002

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

(21)Application number : 2000-217854

(71)Applicant : SONY CORP

(22)Date of filing : 18.07.2000

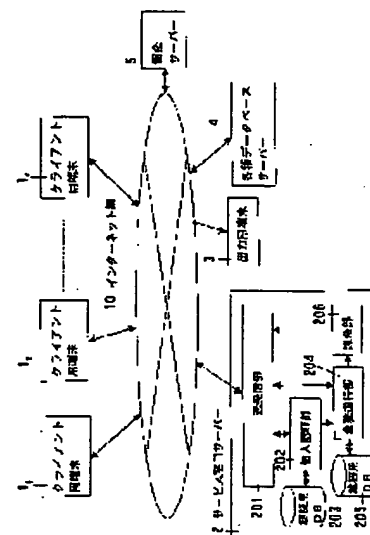
(72)Inventor : NAKAZAWA HIROSHI  
FUKAHORI KENICHI  
KAIDA YUMIKO

(54) WINDOW SERVICE EXECUTING SYSTEM IN SOMEBODY'S BEHALF AND COMPUTER READABLE RECORDING MEDIUM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To execute various service businesses which are required to be processed in somebody's behalf, while considering the security management of personal information, and accessing information managed by the other server.

SOLUTION: The individual certifying part 202 of a service window server 2 certifies an individual based on personal information inputted from one of client terminals 11 to 1n. A business performing part 204 receives the type of service that the individual desires, order information required for performing the service and the address of an output terminal (output terminal 3) outputting the performing result of the service, from the individual terminal as the need arises. The generation business of a document provided with a format following order contents or a report business which requires a prescribed procedure is performed by asking the data base server 4 being the other server. Then, the performed result is outputted by selecting the output terminal which the user individual designates.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-32502

(P2002-32502A)

(43) 公開日 平成14年1月31日 (2002.1.31)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

G 0 6 F 17/60

識別記号

1 4 0

1 5 4

F I

G 0 6 F 17/60

テーム(参考)

1 4 0

5 B 0 4 9

1 5 4

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 13 頁)

(21) 出願番号 特願2000-217854(P2000-217854)

(22) 出願日 平成12年7月18日(2000.7.18)

(71) 出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72) 発明者 中沢 博

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ

ー株式会社内

(72) 発明者 深堀 健一

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ

ー株式会社内

(72) 発明者 改田 裕美子

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ

ー株式会社内

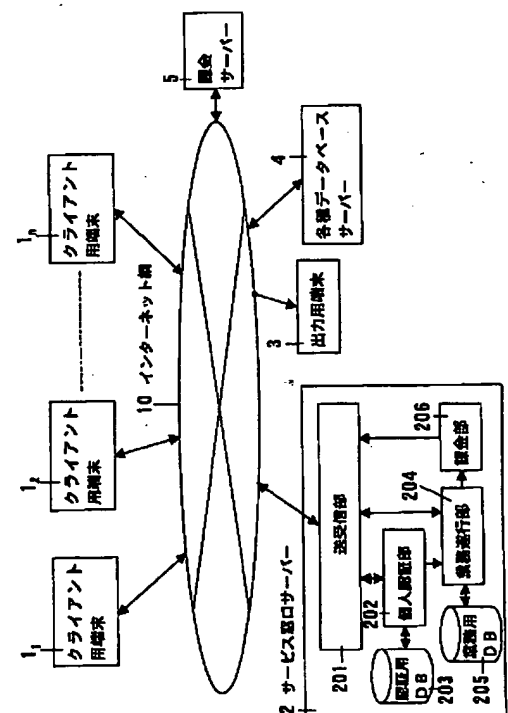
Fターム(参考) 5B049 CC00 EE00 GG00 GG07

(54) 【発明の名称】 窓口サービス代行システム及びコンピュータ読み取り可能な記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 個人情報のセキュリティ管理に配慮し、かつ他のサーバーが管理する情報にもアクセスして処理する必要がある各種のサービス業務を代行する。

【解決手段】 クライアント用端末1<sub>1</sub>～1<sub>n</sub>のいずれかから入力された個人情報を基に、サービス窓口サーバー2の個人認証部202において、個人認証を実施した後、業務遂行部204において、さらに上記個人が希望するサービスの種別と、該サービス遂行に必要な注文情報と、該サービスの遂行結果を出力する出力用端末(ここでは、出力用端末3)のアドレスとを、必要に応じて上記個人の端末から受信し、上記注文内容に従った書式を備えた文書の作成業務、または、所定の手続きが必要な届け出業務を、他のサーバーである各種データベースサーバー4にも依頼して遂行し、かつ、その遂行結果を、上記利用者個人が指定した出力用端末を選んで出力する。



**【特許請求の範囲】**

**【請求項1】** インターネット網に接続されたサーバーにより、個人が要求する窓口サービス業務を遂行する窓口サービス代行システムであって、

前記個人に関する個人情報を、前記個人の端末から前記サーバーに送信する第1の送信手段と、

前記個人情報と、所定の個人情報データベースまたは住民台帳データベースとを参照して、該個人の認証を行う個人認証手段と、

前記認証が得られた場合に、前記個人が要求する窓口サービス業務の種別と、該要求された窓口サービス業務の遂行に必要な関連情報と、該要求された窓口サービス業務の遂行結果を出力させるための前記インターネット網に接続された出力用端末のアドレス情報とを、前記個人の端末から前記サーバーに送信する第2の送信手段と、前記要求された窓口サービス業務の遂行上の必要に応じて、前記サーバーの外部に存在する前記インターネットに接続された他のサーバーと連携しながら、前記要求された窓口サービス業務を遂行する業務遂行手段と、

前記要求された窓口サービス業務の遂行結果を、前記アドレス情報でもって通信可能に接続された出力用端末宛てに送信する第3の送信手段と、

前記送信された窓口サービス業務の遂行結果を、前記出力用端末から出力する出力手段と、

前記遂行した窓口サービス業務に対応する料金を課金する課金手段と、

を有することを特徴とする窓口サービス代行システム。

**【請求項2】** 前記サーバーが遂行する窓口サービス業務には、公的文書の複製印刷、私的文書の印刷、公的機関への届け出業務、私的機関への届け出業務のいずれか1つが含まれることを特徴とする請求項1記載の窓口サービス代行システム。

**【請求項3】** 前記出力用端末の設置場所には、公的機関、金融機関、学校のいずれか1つが含まれることを特徴とする請求項1記載の窓口サービス代行システム。

**【請求項4】** インターネット網に接続されたサーバーにより、個人が要求する窓口サービス業務を実行するプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、

前記個人に関する個人情報を、前記個人の端末から前記サーバーに送信する第1の送信手段、

前記個人情報と、所定の個人情報データベースまたは住民台帳データベースとを参照して、該個人の認証を行う個人認証手段、

前記認証が得られた場合に、前記個人が要求する窓口サービス業務の種別と、該要求された窓口サービス業務の遂行に必要な関連情報と、該要求された窓口サービス業務の遂行結果を出力させるための前記インターネット網に接続された出力用端末のアドレス情報とを、前記個人の端末から前記サーバーに送信する第2の送信手段、

前記要求された窓口サービス業務の遂行上の必要に応じて、前記サーバーの外部に存在する前記インターネットに接続された他のサーバーと連携しながら、前記要求された窓口サービス業務を遂行する業務遂行手段、

前記要求された窓口サービス業務の遂行結果を、前記アドレス情報でもって通信可能に接続された出力用端末宛てに送信する第3の送信手段、

前記送信された窓口サービス業務の遂行結果を、前記出力用端末から出力する出力手段、

前記遂行した窓口サービス業務に対応する料金を課金する課金手段、

として機能させるためのプログラムを記録したことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

**【発明の詳細な説明】****【0001】**

**【発明の属する技術分野】**本発明は、窓口サービス代行システム及びコンピュータ読み取り可能な記録媒体に関し、特に、一定の書式を備え、かつ他のサーバーからの情報を得て、戸籍謄本等の一定の書式を備えた印刷物を出力したり、一定の届け出文書を役所等の他のサーバーに送信したりするサービスを行う窓口サービス代行システム及びコンピュータ読み取り可能な記録媒体に関する。

**【0002】**

**【従来の技術】**従来、役所等において、一定の書式を備えた印刷物が発行されており、また、一定の書式を備えた印刷物を取得するために個人的に利用可能なシステムとしては、印刷所や現像所等に設置される本格的な印刷・現像処理システムの他、所定の書式で所定の文書を格納したワードプロセッサや、インターネット上での或る種のサービスシステムが存在していた。

**【0003】**これら従来システムは、いずれも、窓口を通じて利用者の注文を取り入れ、結果を、同じ場所で引き渡す仕組みになっていた。また、これら従来システムは、いずれも、印刷するデータについては、各システム内で閉じた情報源に依存していた。

**【0004】**即ち、上記従来システムの利用者は、該システムの設置されている場所の窓口まで赴いて注文し、該場所において、上記システムの要素をなす専用の印刷機によって仕上げられた文書を受け取っていた。

**【0005】**さらに、上記従来システムは、いずれも、個人が所有することが困難な専用の印刷機を使用して、特定の個人情報を出力するものであり、従って、かく仕上げられた文書は、個人が認可を与えた一種の証明書の性格を帯びていた。

**【0006】**

**【発明が解決しようとする課題】**従来の一一定の書式を備えた印刷物を出力するシステムには、上記のとおり、印刷所や現像所の本格的な処理システムの他、所定の書式で所定の文書を格納したワードプロセッサ、インターネ

ット上での或る種のサービスシステム等が有るが、これらのシステムは、いずれも、他のサーバーが保管している所定の情報を出力する文書に取り込むことができないといった問題点が有った。

【0007】即ち、一定の書式を備えた印刷物としては、例えば、戸籍謄本や各種の免許証等の他の管理主体が管理する情報を、所定の手続きを経て取り込み、所定の書式で盛り込むべき性質のものも有るが、従来システムでは、これら他の管理主体が管理する情報を取り込むことができないといった問題点があった。

【0008】また、システムの利用者が、該システムの利用場所、即ち、該システムが設置されている場所において、仕上がった文書を受け取る従来のシステムでは、利用者の機動性、即ち、利用者の通勤・通学等に伴う移動を考慮すると、利用者にとっては不便であるといった問題点があった。

【0009】さらに、上記従来システムは、いずれも、個人が所有することが困難な高価な専用の印刷機やプロセッサを使用して、特定の個人情報を出力するものであり、従って、かく出力された文書は、当該個人の認知を受けた一種の証明書性格を有し、該個人の認証無しで、安易に他人に引き渡されては困るという性質を持っていたが、上記従来システムでは、このようなセキュリティ面への配慮が徹底せず、当該個人以外の他人に対しても、上記従来システムからの出力を許してしまうといった問題点を有していた。

【0010】また、印刷所や現像所に設置する本格的なシステムでは、プロセッサが高価であるので、従来のように該プロセッサを窓口毎に配するのではなく、複数の窓口から兼用できる形態が望ましい。

【0011】本発明は、以上のような従来の、窓口サービス代行システムにおける問題点に鑑みてなされたものであり、個人情報のセキュリティ管理に配慮し、かつ他のサーバーが管理する情報にもアクセスして処理する必要がある各種の窓口サービス業務を代行することができる窓口サービス代行システムを提供することを目的とする。

【0012】本発明の第2の目的は、個人情報のセキュリティ管理に配慮し、かつ他のサーバーが管理する情報にもアクセスして処理する必要がある各種の窓口サービス業務を代行することができる窓口サービス代行システムの処理を実行するプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体を提供することにある。

【0013】

【課題を解決するための手段】上記の課題を解決するために、本発明では、インターネット網に接続されたサーバーにより、個人が要求する窓口サービス業務を遂行する窓口サービス代行システムであって、前記個人に関する個人情報を、前記個人の端末から前記サーバーに送信する第1の送信手段と、前記個人情報と、所定の個人情報

報データベースまたは住民台帳データベースとを参照して、該個人の認証を行う個人認証手段と、前記認証が得られた場合に、前記個人が要求する窓口サービス業務の種別と、該要求された窓口サービス業務の遂行に必要な関連情報と、該要求された窓口サービス業務の遂行結果を出力させるための前記インターネットに接続された出力用端末のアドレス情報とを、前記個人の端末から前記サーバーに送信する第2の送信手段と、前記要求された窓口サービス業務の遂行上の必要に応じて、前記サーバーの外部に存在する前記インターネットに接続された他のサーバーと連携しながら、前記要求された窓口サービス業務を遂行する業務遂行手段と、前記要求された窓口サービス業務の遂行結果を、前記アドレス情報でもって通信可能に接続された出力用端末宛てに送信する第3の送信手段と、前記送信された窓口サービス業務の遂行結果を、前記出力用端末から出力する出力手段と、前記遂行した窓口サービス業務に対応する料金を課金する課金手段とを有することを特徴とする窓口サービス代行システムが提供される。

【0014】また、インターネット網に接続されたサーバーにより、個人が要求する窓口サービス業務を実行するプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、前記個人に関する個人情報を、前記個人の端末から前記サーバーに送信する第1の送信手段、前記個人情報と、所定の個人情報データベースまたは住民台帳データベースとを参照して、該個人の認証を行う個人認証手段、前記認証が得られた場合に、前記個人が要求する窓口サービス業務の種別と、該要求された窓口サービス業務の遂行に必要な関連情報と、該要求された窓口サービス業務の遂行結果を出力させるための前記インターネットに接続された出力用端末のアドレス情報とを、前記個人の端末から前記サーバーに送信する第2の送信手段、前記要求された窓口サービス業務の遂行上の必要に応じて、前記サーバーの外部に存在する前記インターネットに接続された他のサーバーと連携しながら、前記要求された窓口サービス業務を遂行する業務遂行手段、前記要求された窓口サービス業務の遂行結果を、前記アドレス情報でもって通信可能に接続された出力用端末宛てに送信する第3の送信手段、前記送信された窓口サービス業務の遂行結果を、前記出力用端末から出力する出力手段、前記遂行した窓口サービス業務に対応する料金を課金する課金手段として機能させるためのプログラムを記録したことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記録媒体が提供される。

【0015】即ち、本発明では、図1に示すように、クライアント（即ち、利用者個人）用の端末と、各種データベースサーバー、即ち、上記利用者個人に関する情報を管理する他のサーバーとが接続されたインターネット網に、本発明に係るサービス窓口サーバーを接続し、上記利用者個人の端末から入力された個人情報並びに注

文情報を基に、上記サービス窓口サーバーにおいて、当該個人の認証を実施した後、必要に応じて、当該利用者個人に関する情報を管理する上記他のサーバーのデータベースにも依頼して、当該個人が注文する注文内容に従った窓口サービス業務、より具体的には、利用者個人が要求する所定の書式を備えた文書の作成や、所定の手続きが必要な届け出業務を処理し、かつ、上記作成した文書や上記手続き内容を含む上記処理結果を、所定の出力用端末（即ち、当該利用者個人が指定した場所に設置されている出力用端末）を選んで出力することにより、一般個人が必要とする各種所定の窓口サービスを、安全かつ迅速に実施し、かつ該個人が上記処理結果を受け取ることが便利であるようにしている。

#### 【0016】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面を参照して説明する。図1は、本発明の実施の形態に係る窓口サービス代行システムの全体構成を示すブロック図である。

【0017】本実施の形態に係る窓口サービス代行システムは、インターネット網10に接続されたクライアント用端末1<sub>1</sub>～1<sub>n</sub>と、所定の窓口サービスを実行するサービス窓口サーバー2と、クライアント用端末1<sub>1</sub>～1<sub>n</sub>のいずれかの利用者によってアドレス指定される出力用端末3と、サービス窓口サーバー2が必要に応じてサービス処理を依頼する各種データベースを備えた各種データベースサーバー4と、サービス料金の課金処理を代行することが可能な課金サーバー5を含む。

【0018】また、サービス窓口サーバー2は、インターネット網10に接続された送受信部201と、送受信部201に接続された個人認証部202と、個人認証部202に接続され個人情報を記録している認証用DB（データベース）203と、個人認証部202及び送受信部201に接続された業務遂行部204と、業務遂行部204に接続され業務遂行に必要なデータを供給する業務用DB（データベース）205と、業務遂行部204及び送受信部201に接続された課金部206を備える。

【0019】なお、サービス窓口サーバー2は、図1に示す本実施の形態では1つだけであるが、本発明では、一般に、複数のサービス窓口サーバーをインターネット網10に接続することができる。

【0020】また、各種データベースサーバー4も、複数の接続が可能であり、かつ、オプションとして、省略することも可能である。以下、本実施の形態に係る窓口サービス代行システムの機能を各構成要素別に説明する。

【0021】クライアント用端末1<sub>1</sub>～1<sub>n</sub>の使用者（即ち、当該サービスの利用者個人）は、該端末を使用して、自己（即ち、該使用者）の認証に必要な個人情報、並びに、自己が要求する窓口サービスの種類と窓口サー

ビスの実行に必要な必要項目、及び、窓口サービスの実行結果を出力するための出力用端末等を指定入力し、対応するサービス窓口サーバー（ここでは、サービス窓口サーバー2）を選んで送信する。

【0022】なお、本実施の形態では、上記送信、及び、その応答は、サービス窓口サーバー2とのインタラクティブな会話の下に、複数の機会に跨がって実行するが、本発明では、上記送信は、一般に、1度の機会で済ませることも可能である。

【0023】サービス窓口サーバー2の送受信部201は、まず、上記個人用端末からの個人情報を受信し、個人認証部202は、上記受信した個人情報と自己が管理する認証用DB203に記録された利用者の個人情報とを照合して、上記利用者の認証を実行する。

【0024】上記認証が得られれば、業務遂行部204において、上記受信した利用者の個人情報、窓口サービスの種類、必要項目の内容に応じて、サービス処理を実行するのに必要な準備を行う。該準備には、例えば、業務用DB205からの上記利用者に対応した業務遂行に必要なデータの取得や、上記利用者が要求するサービス処理の種別の確定や、上記確定したサービス処理の遂行に必要な関連情報の設定等が含まれる。

【0025】上記のサービス処理の種別の確定や、サービス処理の遂行に必要な関連情報を取得するに際しては、業務遂行部204は、上記個人用端末との間で、送受信部201とインターネット網10とを介したインタラクティブな会話を行うことが可能である。

【0026】その後、サービス窓口サーバー2の業務遂行部204は、必要に応じて、各種データベースサーバー4を選択し、送受信部201とインターネット網10とを介して、該選択したサーバーに上記サービス処理を依頼する。

【0027】但し、この部分はオプションであり、外部サーバーである各種データベースサーバー4には依頼しないで、サービス窓口サーバー2だけで上記サービス処理を遂行することも可能である。この場合、上記窓口サービスの料金を上記利用者へ課金する課金処理（料金の計算及び請求書の送付）は、サービス窓口サーバー2において実行する。

【0028】各種データベースサーバー4に、上記サービス処理を依頼する場合には、上記利用者が指定した出力用端末のアドレス（ここでは、出力用端末3のアドレス）や、処理結果の出力数も、各種データベースサーバー4に引き渡される。

【0029】各種データベースサーバー4は、上記依頼されたサービス処理を、自己が管理する各種データベース（図示は省略）を参照して実行し、該実行結果を、上記引き渡されたアドレスの出力用端末（ここでは、出力用端末3）に送出する。

【0030】その後、引き続き、各種データベースサー

パー4は、上記窓口サービスの料金を上記利用者へ課金する課金処理（料金の計算及び請求書の送付）を実行する。出力用端末3は、上記送出された上記サービス処理の実行結果をハード出力（即ち、印刷や現像）する。

【0031】なお、上記の課金処理は、上記のとおり、サービス窓口サーバー2または各種データベースサーバー4において実行されるが、両者のいずれかから、外部機関である課金サーバー5に上記の課金処理の代行を依頼することも可能である。

【0032】また、サービス窓口サーバー2から上記利用者への連絡は、必要に応じて、電子メール、電話、ファックス等が可能であり、上記出力された印刷物は、上記利用者を含む発送希望者へ郵送・宅配等を使用して送付することも可能である。

【0033】さらに、上記窓口サービスの種別としては、例えば、下記の種類が可能である。

1. 特定の書式を備えた印刷物を提供するサービスとして、(1) 各種賞状（例えば、各種卒業証書、運動会や競技会等の各種大会や催事において発行される認定状、賞状、感謝状）の印刷、(2) 各種ライセンス（免許）証（例えば、食品管理者、衛生士、技能士、自動車の免許証、パスポート）の印刷、(3) 電子写真のプリントサービス、(4) 名刺の印刷、(5) 各種案内状（例えば、冠婚葬祭）の印刷、(6) 戸籍謄本、登記簿謄本の印刷、(7) 自費出版物（例えば、画集、写真集、詩歌俳句集）の印刷、(8) 各種アルバム（例えば、記念写真）の印刷、(9) 各種寄せ書きの印刷。

【0034】2. 各種機関への届け出を行うサービスとして、(1) 電話会社への届け出業務、(2) 電力会社への届け出業務、(3) ガス会社への届け出業務、(4) 役所への届け出業務、(5) 銀行への届け出業務、(6) 学校への届け出業務。

【0035】さらに、上記出力用端末は、例えば、役所、役所の代行窓口、銀行、銀行の代行窓口、放送局、放送局の各種スタジオ、各種交通機関、各種交通機関の販売窓口、各種企業の施設内、各種学校、各種病院、各種病院の受け付け窓口、薬局、印刷所、印刷所の受け付け窓口、写真店、文房具店、デパートメントストア、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、各種競技場、各種競技場の代行窓口、各種体育・運動施設、各種遊技施設、等に設置することが可能である。

【0036】図2は、本発明の実施の形態に係る窓口サービス代行システムの1実施例である戸籍／登記簿謄本発行システムの構成を示すブロック図である。本実施の形態の1実施例に係る戸籍／登記簿謄本発行システムは、インターネット網10に接続されたクライアント用端末21<sub>1</sub>～21<sub>n</sub>と、戸籍謄本、戸籍抄本、登記簿謄本、等を発行するサービスを代行する戸籍／登記簿謄本発行サーバー22と、クライアント用端末21<sub>1</sub>～21<sub>n</sub>

のいずれかの利用者によってアドレス指定される（謄本出力用の）出力用端末23と、戸籍／登記簿謄本発行サーバー22が必要に応じて上記の戸籍謄本、登記簿謄本、等の出力処理を依頼する上記の戸籍謄本、登記簿謄本、等の原本データベースを備えた戸籍／登記簿謄本（原本）保管サーバー24を含む。

【0037】以下、本実施の形態の1実施例に係る戸籍／登記簿謄本発行システムの機能を各構成要素別に説明する。クライアント用端末21<sub>1</sub>～21<sub>n</sub>のいずれかの使用者（即ち、当該サービスの利用者）は、該端末を使用して、自己（即ち、該使用者）の認証に必要な個人情報を入力し、該個人情報を、戸籍／登記簿謄本発行サーバー22を選んで送信することにより、希望する謄本の出力処理を指令する。

【0038】なお、上記の個人情報には、当該利用者個人の本籍地（都道府県、区市郡、町村）の他、当該利用者個人の氏名、E-mailアドレス、該利用者が予め取得した登録ID（識別子）と暗証番号（パスワード）等を含めることができる。

【0039】戸籍／登記簿謄本発行サーバー22は、上記送信情報を受信し、自己が備える住民台帳データベース（図2での図示は省略）に基づき、上記利用者の認証を実行する。

【0040】上記認証が得られれば、引き続き、戸籍／登記簿謄本発行サーバー22は、上記指令を発した利用者が出力処理を要求する謄本の種別、即ち、戸籍謄本、登記簿謄本のいずれであるかの種別を指定する情報と、上記指定した出力処理に必要な必要項目と、該出力処理結果の送信先である出力用端末のアドレスと、謄本の必要部数とを指定する情報との送信要求を、上記指令を発した利用者の端末に送信し、その応答として、これらの各情報を上記端末から受信した後、所定の内部メモリ

（図示は省略）に記録（入力）し、その後、対応する謄本の出力処理を実行するのに必要な準備を行う。該準備には、具体的には、謄本台帳データベース（図2での図示は省略）を検索して上記利用者が要求する謄本の種別毎に上記利用者に対応するレコード（上記謄本原本取得に必要な情報が記録されている）を取得することと、該レコード情報に基づいて上記謄本原本の出力を依頼するサーバー（ここでは、戸籍／登記簿謄本（原本）保管サーバー24）を選定することと、上記謄本原本の出力を該選定したサーバーに依頼する送信文面を作成することとが含まれる。

【0041】なお、上記の謄本台帳データベースには、戸籍抄本を記録することができる。また、上記の戸籍／登記簿謄本（原本）保管サーバー24への送信文面には、上記利用者が指定した出力用端末のアドレス（ここでは、出力用端末23のアドレス）や、出力すべき謄本の必要部数も含める。

【0042】その後、戸籍／登記簿謄本発行サーバー2

2は、戸籍／登記簿謄本（原本）保管サーバー24を選択し、該選択したサーバーに、上記出力用端末アドレスを含む上記送信文面を送信して、上記指定された謄本の出力処理を依頼する。

【0043】戸籍／登記簿謄本（原本）保管サーバー24は、上記依頼された謄本の出力処理を、自己が管理する戸籍／登記簿謄本（原本）保管データベースを参照して実行し、上記依頼された謄本の出力形式を、上記送信されたアドレスの出力用端末に送信すると共に、上記依頼された謄本の発行サービスに対応した所定の課金処理を行う。

【0044】上記出力用端末は、上記謄本の出力形式をハード出力（即ち、印刷や現像）する。なお、戸籍／登記簿謄本（原本）保管サーバー24が出力した上記謄本の出力形式を、一旦、戸籍／登記簿謄本発行サーバー22に返した後、該戸籍／登記簿謄本発行サーバー22から、出力用端末23に送信してハード出力させる方式とすることも可能である。

【0045】図3は、本発明の実施の形態に係る窓口サービス代行システムの1実施例である戸籍／登記簿謄本発行システムの戸籍／登記簿謄本発行サーバー22の動作を示すフローチャートである。

【0046】以下、図1、2を参照しつつ、図3に示すフローチャートを使用して、本実施の形態に係る窓口サービス代行システムの1実施例である戸籍／登記簿謄本発行システムの戸籍／登記簿謄本発行サーバー22の動作を説明する。

【0047】まず、ステップS1では、送信された個人情報と、住民台帳データベースとを照合して、利用者個人の本人確認（認証）を実行する。ステップS2では、上記認証結果を検証し、上記認証が得られない場合には、処理を終了し、上記認証が得られた場合には、ステップS3に移る。

【0048】ステップS3では、上記指令を発した利用者が出力処理を要求する謄本の種別、即ち、戸籍謄本、登記簿謄本のいずれであるかの種別を指定する情報と、上記指定した出力処理に必要な必要項目と、該出力処理結果を出力するための出力用端末等のアドレスと、出力すべき謄本の部数とを指定する情報との送信要求を、上記指令を発した利用者（クライアント）の端末に送信して、上記端末からこれらの情報を受信し、所定の内部メモリに記録（入力）する。

【0049】ステップS4では、謄本台帳データベースを検索して上記利用者が要求する謄本の種別毎に上記利用者に対応するレコードを取得する。ステップS5では、上記レコードの内容、及び、上記利用者が指定した出力用端末のアドレス（ここでは、出力用端末23のアドレス）、謄本の必要部数とを含む上記謄本原本の出力依頼の文面を作成し、戸籍／登記簿謄本（原本）保管サーバー24に送信する。

【0050】以上は、戸籍／登記簿謄本発行サーバー22の動作であるが、この後、戸籍／登記簿謄本（原本）保管サーバー24が、上記出力依頼文面に含まれる上記レコードでもって、自己が管理する謄本原本保管サーバーのデータベースを照合して、指定された謄本に該当する謄本を取り出し、上記出力依頼文面で指定された出力用端末に送信すると共に、必要な課金処理を行う。また、出力用端末23と、上記利用者は、下記のステップを実行する。

【0051】ステップS6では、上記指定された出力用端末が、上記取り出された謄本を、上記必要部数だけハード出力する。ステップS7では、上記利用者が、上記課金処理により送付されてきた請求書に基づいて、請求されたサービス料金を支払う。

【0052】図4は、本発明の実施の形態に係る窓口サービス代行システムの他の1実施例である特定印刷物発行システムの構成を示すブロック図である。本実施の形態の1実施例に係る特定印刷物発行システムは、インターネット網10に接続されたクライアント用端末41<sub>1</sub>～41<sub>n</sub>と、所定の書式を備えた特定印刷物を発行するサービスを代行する特定印刷物発行サーバー42と、クライアント用端末41<sub>1</sub>～41<sub>n</sub>のいずれかの利用者によってアドレス指定される（上記特定印刷物出力用の）出力用端末43を含む。

【0053】以下、本実施の形態に係る窓口サービス代行システムの他の1実施例である特定印刷物発行システムの機能を各構成要素別に説明する。クライアント用端末41<sub>1</sub>～41<sub>n</sub>のいずれかの使用者（即ち、当該サービスの利用者）は、該端末を使用して、自己（即ち、該使用者）の認証に必要な個人情報を入力し、該個人情報を、特定印刷物発行サーバー42を選んで送信することにより、希望する特定印刷物の出力処理を指令する。

【0054】なお、上記の個人情報には、当該利用者個人の氏名の他、E-mailアドレス、該利用者が予め取得した登録ID（識別子）と暗証番号（パスワード）等を含めることができる。

【0055】特定印刷物発行サーバー42は、上記送信情報を受信し、自己が備える利用者管理データベース（図4での図示は省略）に基づき、上記利用者の認証を実行する。

【0056】上記認証が得られれば、引き続き、特定印刷物発行サーバー42は、上記特定印刷物に使用する文字のフォントの種別と大きさとを決定するテンプレートを指定する情報と、上記特定印刷物の内容を決める印刷項目と、印刷書式を指定する情報と、該出力処理結果の送信先である出力用端末のアドレスを指定する情報と、出力する特定印刷物の部数との送信要求を、上記指令を発した利用者の端末に送信し、その応答としてこれらの各情報を上記端末から受信した後、該受信した情報で仕様が定まる特定印刷物を作成する。

【0057】上記特定印刷物の作成の仕事は、具体的には、上記指定されたテンプレートを、自己が備えるテンプレートデータベース（図4での図示は省略）を検索して取り出すことと、該テンプレートを使用して上記印刷項目を入力することと、自己が備える特定印刷物の書式データベース（図4での図示は省略）を検索して、上記利用者が指定する特定印刷物に対応した書式を設定することと、該書式に従って上記特定印刷物の出力形式を仕上げることと、該仕上げられた特定印刷物の出力形式の仕上がり状況を、上記利用者用の端末に付属する表示装置または特定印刷物発行サーバー42内の表示装置（いずれも、図示は省略）に表示した後、上記利用者または特定印刷物発行サーバー42の担当者がこれを視認して、その仕上がり状況を確認することからなる。

【0058】満足する仕上がり状況の上記特定印刷物が得られたならば、該特定印刷物の出力形式と出力部数とを上記利用者が指定した出力用端末（ここでは、出力用端末43）に送信すると共に、上記特定印刷物の発行サービスに対応した所定の課金処理を行う。

【0059】出力用端末43は、上記送出された特定印刷物の出力形式を、ハード出力（即ち、印刷や現像）する。なお、本実施の形態では、特定印刷物の出力形式を特定印刷物発行サーバー42内で閉じて作成する方式を示したが、本発明では、特定印刷物の出力形式の作成を、一般に、必要に応じて他機関のサーバーに、一部または全面的に依頼することが可能である。

【0060】図5は、本発明の実施の形態に係る窓口サービス代行システムの他の1実施例である特定印刷物発行システムの特定印刷物発行サーバー42の動作を示すフローチャートである。

【0061】以下、図1、4を参照しつつ、図5に示すフローチャートを使用して、本実施の形態に係る窓口サービス代行システムの他の1実施例である特定印刷物発行システムの特定印刷物発行サーバー42の動作を説明する。

【0062】まず、ステップA1では、送信された個人情報と、利用者管理データベースとを照合して、利用者個人の本人確認（認証）を実行する。ステップA2では、上記認証結果を検証し、上記認証が得られない場合には、処理を終了し、上記認証が得られた場合には、ステップA3に移る。

【0063】ステップA3では、上記利用者が希望する特定印刷物に使用する文字のフォントの種別と大きさを決定するテンプレートを指定する情報の送信要求を、上記利用者の端末に送信し、返されたテンプレートの指定情報に適合するテンプレートを、テンプレートデータベースから選択して入力する。

【0064】ステップA4では、上記特定印刷物の内容を決める印刷項目の指定情報と、上記特定印刷物の出力形式の送信先である出力用端末のアドレスを指定する情

報との送信要求を、上記指令を発した利用者（クライアント）の端末に送信して、上記端末からこれらの情報を受信し、上記印刷項目については、所定の記憶装置に一時記録（入力）した後、上記選択されたテンプレートに従って該印刷項目を入力し、出力すべき特定印刷物の出力形式の元となる情報を作成する。

【0065】ステップA5では、上記利用者が希望する特定印刷物の書式仕様の指定情報を、上記利用者の端末に送信し、返された書式仕様の指定情報に適合した書式を、特定印刷物の書式データベースを検索して取り出し、これにより、上記利用者が要求する特定印刷物に対応する印刷書式を設定する。

【0066】ステップA6では、上記印刷書式に従って、上記の出力すべき特定印刷物の出力形式の元となる情報を、上記特定印刷物の出力形式に仕上げると共に、該仕上げられた特定印刷物の出力形式の仕上がり状況を上記利用者用の端末に付属する表示装置または特定印刷物発行サーバー42内の表示装置に表示した後、上記利用者または特定印刷物発行サーバー42の担当者がこれを視認する。

【0067】ステップA7では、上記視認結果を検証し、満足する仕上がり状況の上記特定印刷物が得られたならば、ステップA8に移り、また、満足する仕上がり状況が得られなかった場合は、その状況に応じて、上記のステップA3またはステップA4またはステップA5に戻る。

【0068】ステップA8では、上記特定印刷物の出力形式と出力部数とを上記利用者が指定した出力用端末に送信すると共に、必要な課金処理を行う。以上は、特定印刷物発行サーバー42の動作であるが、この後、出力用端末43と、利用者本人が下記のステップを実行する。

【0069】ステップA9では、上記指定された出力用端末が、上記送信された特定印刷物の出力形式を上記出力部数だけハード出力する。ステップA10では、上記利用者が、上記課金処理により送付されてきた請求書に基づいて、請求された上記特定印刷物の代金を支払う。

【0070】図6は、本発明の実施の形態に係る窓口サービス代行システムの他の1実施例である届け出処理システムの構成を示すブロック図である。本実施の形態に係る窓口サービス代行システムの他の1実施例である届け出処理システムは、インターネット網10に接続されたクライアント用端末61<sub>1</sub>～61<sub>n</sub>と、届け出処理のサービスを代行する届け出処理サーバー62と、クライアント用端末61<sub>1</sub>～61<sub>n</sub>のいずれかの利用者によってアドレス指定される（届け出処理結果報告用の）出力用端末63と、届け出処理サーバー62が必要に応じて上記の届け出処理の必要文面を送信する後述する各種機関のサーバーを含む。

【0071】上記各種機関のサーバーとしてインターネ



ット網10に接続されるサーバーには、本実施の形態では、電話会社設置サーバー611と、電力会社設置サーバー612と、ガス会社設置サーバー643と、役所設置サーバー644と、銀行設置サーバー645と、学校設置サーバー646とを含むが、本発明では、一般に、さらに多くの他のサーバーを含むことができる。

【0072】以下、本実施の形態に係る窓口サービス代行システムの他の1実施例である届け出処理システムの機能を各構成要素別に説明する。クライアント用端末611～61nのいずれかの使用者（即ち、当該サービスの利用者）は、該端末を使用して、自己（即ち、該使用者）の認証に必要な個人情報を入力し、該個人情報を、届け出処理サーバー62を選んで送信することにより、希望する届け出処理を指令する。

【0073】なお、上記の個人情報には、当該利用者個人の氏名と、E-mailアドレスと、届け出が必要な上記各機関の名称とを含めることができる。また、上記の個人情報の他に、該利用者が予め取得した登録ID（識別子）や暗証番号（パスワード）を、必要に応じて、届け出処理サーバー62とのインタラクティブな会話の下に、送信することができる。

【0074】届け出処理サーバー62は、上記送信情報を受信し、自己が備える個人情報データベース（図6での図示は省略）に基づき、上記利用者の認証を実行する。上記認証が得られれば、引き続き、届け出処理サーバー62は、上記指令を発した利用者がどのような種類の届け出処理を要求するのかの種別を指定する情報と、上記指定された届け出処理に必要な必要項目と、該届け出処理の結果報告書の送信先である出力用端末のアドレスを指定する情報との送信要求を、上記指令を発した利用者の端末に送信し、その応答として、これらの各情報を上記端末から受信した後、該受信した内容項目をチェックする。

【0075】上記チェックの後、届け出処理サーバー62は、上記指令が届け出処理であることを確認した上で、要求された届け出処理の種別に対応した届け出処理を実行し、その後、該届け出処理に対応する所定の課金処理を実行する。

【0076】上記の届け出処理は、具体的には、上記利用者が指定した上記機関の他、必要に応じて、該届け出処理に関する届け出が必要な上記各機関を選出し、該機関の各々に宛てた該各機関対応の届け出文面を作成する仕事と、該作成した届け出文面を、該機関の各々に宛てて送信する仕事とが含まれる。

【0077】なお、上記の届け出文面の送信に際しては、上記利用者が指定した届け出処理結果報告用の出力用端末のアドレス（ここでは、出力用端末63のアドレス）も送出する。

【0078】その後、届け出処理サーバー62は、上記各機関からの処理結果の報告を受けて、該報告内容を上

記出力用端末アドレスの出力用端末に送信する。上記出力用端末は、上記報告内容をハード出力（即ち、印刷や現像）する。

【0079】なお、上記の届け出処理の具体例には、利用者の引越し処理に係る届け出処理を含めることができる。図7は、本発明の実施の形態に係る窓口サービス代行システムの他の1実施例である届け出処理システムの届け出処理サーバー62の動作を示すフローチャートである。

【0080】以下、図1、6を参照しつつ、図7に示すフローチャートを使用して、本実施の形態に係る窓口サービス代行システムの他の1実施例である届け出処理システムの届け出処理サーバー62の動作を説明する。

【0081】まず、ステップB1では、届け出処理の指令を送信してきた利用者が予め取得した登録ID（識別子）や暗証番号（パスワード）の送信要求を、該利用者の端末に送信し、インタラクティブな会話の下に、上記登録IDや暗証番号を受信する。

【0082】ステップB2では、上記の指令を送信してきた利用者の個人情報に加えて、上記の登録IDや暗証番号をキー情報として、個人情報データベースを照合し、利用者個人の本人確認（認証）を実行する。

【0083】ステップB3では、上記認証結果を検証し、上記認証が得られない場合には、処理を終了し、上記認証が得られた場合には、ステップB4に移る。ステップB4では、上記指令を発した利用者が要求する届け出処理の種別を指定する情報と、該処理に必要な項目との送信要求を、上記利用者の端末に送信し、インタラクティブな会話の下に、これらの情報を受信して入力する。

【0084】ステップB5では、上記受信した必要項目の内容をチェックする。ステップB6では、上記指令が届け出処理であるか否かを検証し、届け出処理でなければ、処理を終了し、届け出処理であれば、ステップB7に移る。

【0085】ステップB7では、上記指令で要求された届け出処理の種類に応じて、ステップB8に含まれる届け出処理-1～届け出処理-nのいずれか1つの処理ルーチンに制御の流れを移し、その後、ステップB9に移る。

【0086】なお、上記届け出処理-1～届け出処理-nの各処理ルーチンは、対応する機関の各々に宛てた該各機関対応の届け出文面を作成し、該作成した届け出文面を、該機関の各々に宛てて送信する。

【0087】ステップB9では、上記送信した届け出文面と上記各機関からの報告書を上記利用者が指定した出力用端末に送信すると共に、上記届け出処理サービスに対応した課金処理を行う。

【0088】以上は、特定印刷物発行サーバー42の動作であるが、この後、上記指定された出力用端末が、上

記届け出文面と上記各機関からの報告書とをハード出力し、かつ、利用者本人がステップB10を実行する。

【0089】ステップB10では、上記利用者が、上記課金処理により送付されてきた請求書に基づいて、請求されたサービス料金を支払う。なお、図3、5、7のフローチャートで示した処理を実行するプログラムなど、本発明の実施の形態に係るシステム内の各処理装置に上記の処理を行わせるためのプログラムは、CD-ROMや磁気テープなどのコンピュータ読み取り可能な記録媒体に格納して配付してもよい。そして、少なくともマイクロコンピュータ、パーソナルコンピュータ、汎用コンピュータを範疇に含むコンピュータが、上記の記録媒体から上記プログラムを読み出して、実行するものとしてもよい。

【0090】

【発明の効果】以上に説明したとおり、本発明では、クライアント用の端末と、各種データベースサーバーとが接続されたインターネット網に、本発明に係るサービス窓口サーバーを接続し、上記端末から入力された個人情報並びに注文情報を基に、上記サービス窓口サーバーにおいて、当該個人の認証を実施した後、必要に応じて、他のサーバーのデータベースにも依頼して、上記注文内容に従った所定の書式を備えた文書の作成や、所定の手続きが必要な届け出業務を処理し、かつ、その処理結果を、利用者個人が指定した出力用端末を選んで出力するので、一般個人が必要とする各種所定の窓口サービスを、安全かつ迅速に実施することができて、かつ該個人が上記処理結果を受け取る受け取り場所の選択に、自由度を与える。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態に係る窓口サービス代行システムの全体構成を示すブロック図である。

【図2】本発明の実施の形態に係る窓口サービス代行システムの1実施例である戸籍／登記簿謄本発行システムの構成を示すブロック図である。

【図3】本発明の実施の形態に係る窓口サービス代行システムの1実施例である戸籍／登記簿謄本発行システムの戸籍／登記簿謄本発行サーバー22の動作を示すフローチャートである。

【図4】本発明の実施の形態に係る窓口サービス代行システムの他の1実施例である特定印刷物発行システムの構成を示すブロック図である。

【図5】本発明の実施の形態に係る窓口サービス代行システムの他の1実施例である特定印刷物発行システムの特定印刷物発行サーバー42の動作を示すフローチャートである。

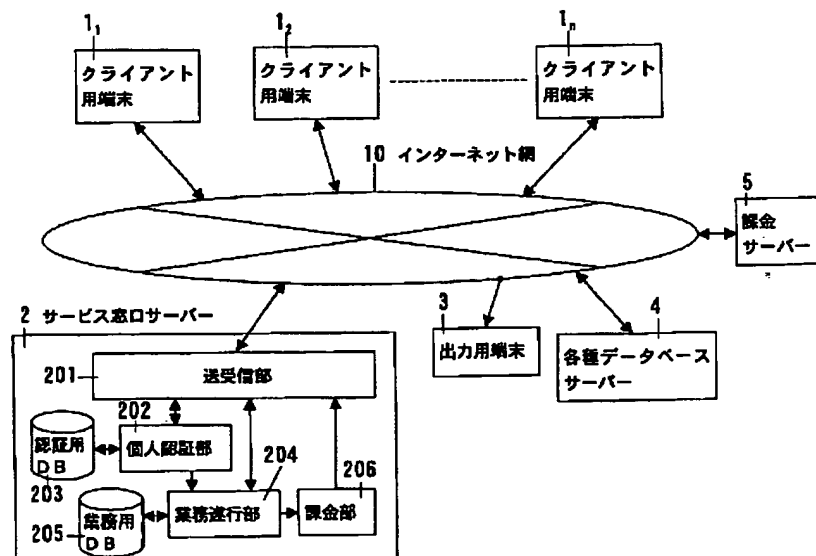
【図6】本発明の実施の形態に係る窓口サービス代行システムの他の1実施例である届け出処理システムの構成を示すブロック図である。

【図7】本発明の実施の形態に係る窓口サービス代行システムの他の1実施例である届け出処理システムの届け出処理サーバー62の動作を示すフローチャートである。

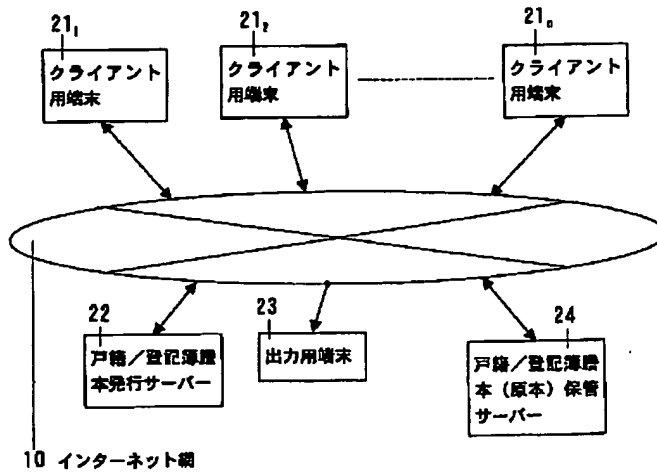
【符号の説明】

1<sub>1</sub>～1<sub>n</sub>……クライアント用端末、2……サービス窓口サーバー、3……出力用端末、4……各種データベースサーバー、10……インターネット網、201……送受信部、202……個人認証部、203……認証用DB、204……業務遂行部、205……業務用DB（データベース）、206……課金部

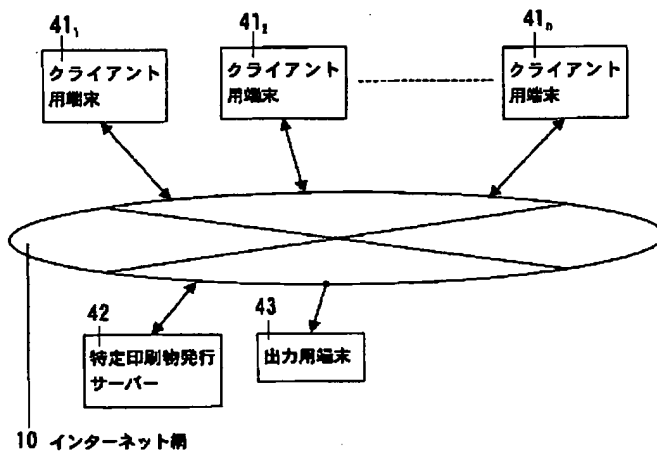
【図1】



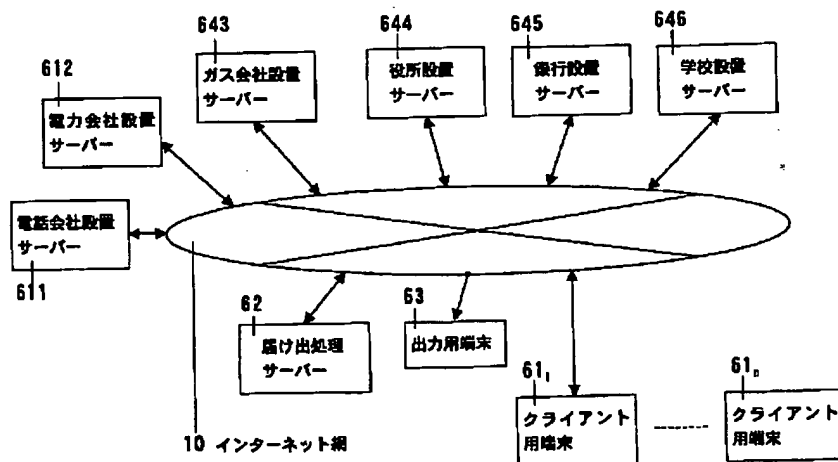
【図2】



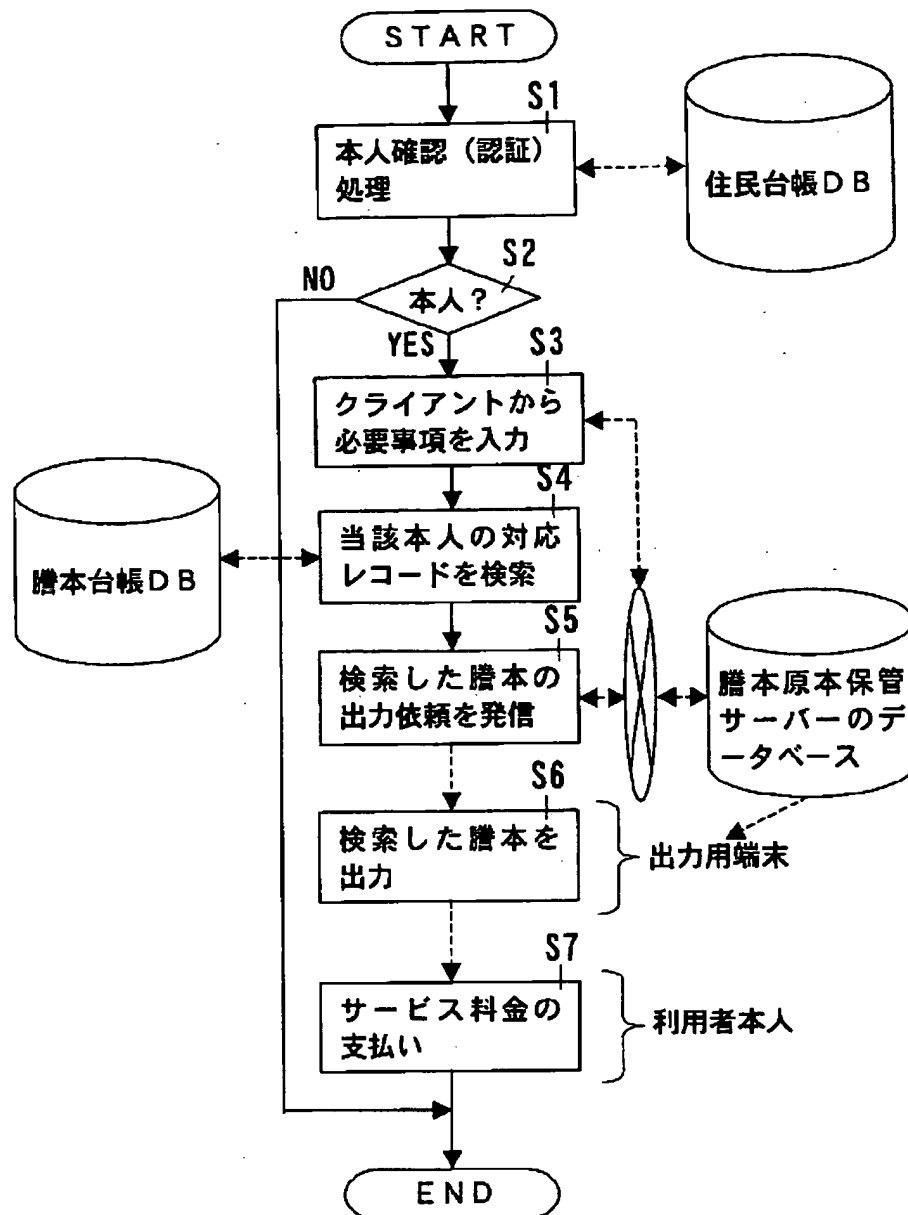
【図4】



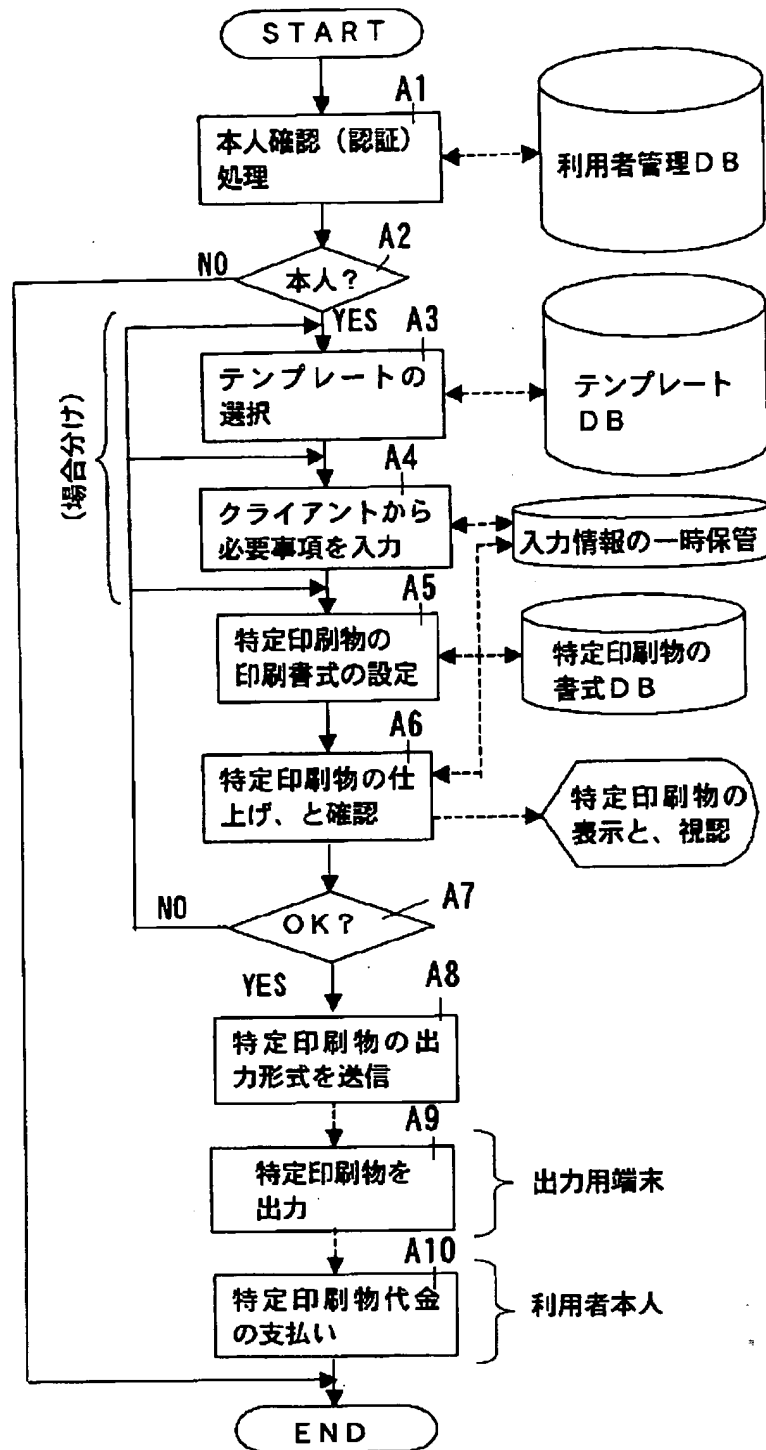
【図6】



【図3】



【図5】



【図7】

